| 学校番号 | 402 |
|---|---|

# 令和２年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 3 | 第２学年 | PROMINENCE English Communication Ⅱ (東京書籍)<br>PROMINENCE English Communication Ⅱ 予習ノート |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書本文の語彙・表現・内容を習得できるようにする。

読んだ Lesson の内容を英語で再現できるようにする。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）及び「英語表現Ⅱ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した副教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ・身近な話題（趣味や将来の夢など）について話すことができる.<br>・発音や強弱のリズム，イントネーションなどの音声的な特徴に注意しながら話すことができる. | CEⅡ<br>・Retelling<br>英表Ⅱ<br>・Presentation<br>・Speech | ・身近な話題（趣味や将来の夢など）について書くことができる.<br>・内容の要点を表す語句や談話標識などに注意しながら書くことができる. | CEⅡ<br>・定期考査<br>英表Ⅱ<br>・Dictation<br>・Presentation<br>・Speech<br>・定期考査 | ・論説や物語などを聞いて，その概要や詳細を把握することができる.<br>・事実と意見を区別して聞くことができる.<br>・発音や強弱のリズム，イントネーションなどの音声的な特徴に注意しながら聞くことができる. | CEⅡ<br>・Retelling<br>英表Ⅱ<br>・Dictation | ・論説や物語などを読んで，その概要を把握することができる.<br>・論説や物語などを読んで，その詳細を把握することができる.<br>・事実と意見を区別して読むことができる. | CEⅡ<br>・定期考査<br>英表Ⅱ<br>・定期考査 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ３学習評価（評価の観点と実施方法）観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
| 実施方法 | コミュニケーションをしようという意欲を抱き、積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうと自ら働きかける。 | 英語で書き、話すことで自分の考えや情報などを的確に伝えることができる。 | 英語を読み、聞くことで情報也発信者の言いたいことを正しく理解することができる。 | 英語で伝えられたことの背景にある文化についての正しい知識を持ち、英語を場面に応じ的確に使用することができる。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 1<br>（８時間） | The Power of Empathy | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | コミュニケーションにおいて相手に共感することの重要性について積極的に理解する | キーワードを使って，医者の共感力に関する実験について，口頭で説明できる | 共感力の大切さについて，読んだり聞いたりしたことが理解できる | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | キーワードや写真を使って，人間が共感するために必要なことについて考える。 | 共感力について説明したり，意見を述べたりする。 | 共感力について口頭で説明できる。<br>自分の意見を英語で書き，発表できる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 共感力について，聞いたり読んだりしたことが理解できる。 | 共感力について、読んだり聞いたりして理解する。 | 読んだ内容に関する質問に英語で答えられる。 | ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 共感力について，文化による相違点や共通点があることを理解している。 | S + V + O または whether で始まる節)<br>/ 受け身（完了形） | 英語の音の連結について理解し，音読できる。 | ペアで音読し相互評価 |
| Lesson 2<br>（８時間） | Come and Visit the Park in the Sky! | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 廃線の再利用について関心を持ち，空中公園ができるまでにどのような問題があるか，積極的に考えようとしている。 | ハイライン建設の過程を，時系列に要点を整理しながらとらえることができる。 | ペアワークやグループ活動など、授業全体を通して積極的に参加している。 | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 自分自身が誰かに教えたり尋ねたりしたことについて表現できる。 | ハイライン建設の過程を説明したり，ある意見に対して賛成したり反対しながら自分の意見を発表する。 | ハイライン建設の過程について発表できる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 読んだ内容に関する質問に英語で答えられる。 | ハイライン建設の過程をについて、読んだり聞いたりして理解する。 | 筆者の意見に対して，賛成または反対の意見を述べ，理由を説明することができる。 | ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ハイライン建設の過程について理解している。 | 現在完了進行形 | 英文の意味上の区切りでポーズを置き，音読することができる。 | ペアで音読し相互評価する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 3<br>( 8時間) | A Window to Ancient Earth | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 田邊氏の生き方や南極大陸の湖の生態系について関心を持ち，古代の地球生命との関係について意欲的に考えようとしている。 | キーワードを用いながら，本文の要点をまとめ，書くことができる。 | インタビューの内容や人物に関する質問に英語で答えることができる | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ポリネシアの伝統的な航海術について，要点や詳細を捉えることができる。 | 人物について意見を述べる。キーワードや写真を使って，口頭で説明する。 | ポリネシアの伝統的な航海術に関して説明したり，人物について意見を述べる。キーワードや写真を使って，口頭で説明する。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 読んだ内容や人物に関する質問に英語で答えられる。 | ポリネシアの伝統的な航海術に関して説明する。 | キーワードや写真を使って，口頭で説明できる。 | ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 文化による相違点や共通点があることを理解している。 | 関係副詞の非制限用法 | インタビューに使われる表現について理解している。 | ペアで音読し相互評価 |
| Lesson 4<br>( 8時間) | Bonsai Goes Global | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 日本の伝統文化である盆栽について関心を持ち，文化の変容や多様化について積極的に理解する。 | 国際的に人気が高まっている日本の盆栽について学び，盆栽の国際化，多様化について理解する。 | 本文中の人物を選び，ペアでインタビュー活動を行うことができる。 | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文中の人物を選び，ペアでインタビュー活動を行うことができる。 | ペアでインタビュー活動を行うことができる。 | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えることができる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 盆栽について聞いたり読んだりしたことが理解できる。 | 盆栽について聞いたり読んだりする。 | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。 | ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 盆栽について関心を持ち，文化の変容や多様化について積極的に理解する。 | 倒置 / 独立分詞構文 | 倒置の効果的な読み方に習熟し，相手にわかりやすく音読できる。 | ペアで音読し相互評価 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 5<br>( 8時間) | Taking the Sting Out of Jellyfish | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | クラゲの生態と人間との関係性について理解し，クラゲに対して知識と親近感を深める。。 | クラゲの種類や特徴，人間との関係性について理解し，すでに学習した内容について要点を整理しプレゼンテーションを行う。 | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えることができる。。 | そのようにして考察した結果を周囲と積極的に英語で意見交換できる |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | クラゲに対して知識と親近感を深める | キーワードを適切に用いながら，英語で要約を作成することができる。 | クラゲに関して読んだり聞いたりしたことを適切に理解することができる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 興味のあるトピックを選び，積極的に英語でプレゼンテーションに取り組んでいる。。 | クラゲの種類や特徴，人間との関係性について理解する | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。 | 発表 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | すでに学習した内容について要点を整理しプレゼンテーションを行う | No matter + what などで始まる節 / 完了不定詞 | プレゼンテーションの構成や効果的に使える表現について理解している。 | ペアで音読し相互評価 |
| Lesson 6<br>( 8時間) | Does It Spark Joy? | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 近藤氏の片づけに対するユニークな考え方や方法に興味を持ち，積極的に理解しようとしている。 | 「片づけ」について，主体的に考えようとしている。 | 自分の意見を，アイコンタクトやジェスチャーに注意しながら，効果的に発表することができる。。 | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 具体例を交えながら英語でわかりやすく説明できる。 | 近藤氏の指摘や主張から共感や感動を覚えたものについて，自分の経験を交えながら英語で書き，発表する。 | 題材内容について，自分の経験も交えながら英語で表現できる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 近藤氏の片づけ方について，聞いたり読んだりして理解することができる。 | 近藤氏の片づけ方について，わかりやすい英語で説明する。 | 近藤氏の片づけ方について，聞いたり読んだりして理解できる。 | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で応答 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 。 | 関係副詞 / to 不定詞の意味上の主語 / 仮定法過去 | 英語の持つ強弱のリズムについて理解し，場面にふさわしい臨場感を出しながら音読できる。 | ペアで音読し相互評価 |
| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
| Lesson 7<br>( 8時間) | Malala's Fight for Education ? | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 英語でスピーチすること対して，意欲的に取り組もうとしている。 | マララ・ユスフザイさんの 2014 年ノーベル平和賞受賞スピーチから，マララさんの信念や闘いについて知り，教育の拡充や貧困など世界の問題について考える。 | パキスタンで教育を受けられない子供が多くいる現状を知り，対策について考えることができる。 | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 表を的確に理解して，数字を用いて，英語で説明することができる | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えることができる。。 | 英語の強勢（ストレス）に注意して，スピーチを音読することができる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | マララさ活動について英語で説明することができる。 | マララさんのスピーチに込められたメッセージを聞いたり読んだりして，理解することができる。 | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。 | 発表、ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | マララさんの経験について興味を持ち，彼女の自国や教育に対する情熱を積極的に理解しようとしている。 | S + V + O + C(C=過去分詞) / 前置詞＋関係代名詞 | ピリオド，カンマ，コロンなどの区切りでポーズを置くことを理解し，音読できる。 | ペアで音読し相互評価 |
| Lesson 8<br>( 8時間) | Welcome to the World of Tove Jansson | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 『ムーミン』が時代や国を超えてあらゆる世代の人々から愛されている理由を，意欲的に知ろうとしている。 | ムーミンの作者であるトーベ・ヤンソンの生きた時代背景を理解し，作品に込められたメッセージを登場人物の言動から考える。 | 『ムーミン』の主要な登場人物の特徴をとらえ，物語に込められたメッセージを理解できる | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | キーワードを適切に用いながら，英語で要約を作成することができる。 | ムーミンについて自分なりの考えを英語で書き，発表できる。 | 物語について，論理的に英語で説明できる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 題材を，段落の構成や主旨を踏まえながら聞いたり読んだりして理解できる。 | 物語について英語で説明する。 | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。 | 発表、ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | 自分の意見を英語で書き，スピーチする。 | ムーミンの作者について知り，作品に込められた自由や平和に対する願いについて理解している。 | 英語の音の連結について正しく理解し，音読できる。 | ペアで音読し相互評価 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 9<br>( 8時間) | A Country of Poles and Signs | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 電柱やさまざまな看板，標識が立ち並ぶ日本の景観について賛否両論の意見を知り，都市の望ましい環境について主体的に考える。 | 日本の景観に関する Dennett 氏の意見とその理由を理解できる。 | ペアワークやグループ活動など、授業全体を通して積極的に参加している。 | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | キーワードを適切に用いながら，英語で要約を作成することができる。 | 他の人と意見を交換しながら，議論を深めることができる。 | 場面に合わせ，臨場感あふれる音読ができる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 題材に関する自分の意見を，根拠を示しながら，適切な表現で説明することができる。 | 他の人と意見を交換しながら，議論を深めることができる。 | 聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。 | ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 題材の社会的な背景を適切に理解している。パラリンピック創設までの経緯とルードヴィッヒ・グッドマン医師の功績を理解している。 | 節を指す形式目的語の it / 助動詞 do による動詞の強調 | 日本でよく見られる電柱や看板の存在と景観に与える影響について理解している。<br>。 | ペアで音読し相互評価 |
| Lesson 10<br>( 8時間) | How to Use “If” | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | if の使用にまつわるエッセイを読み，著者の説明や感情を積極的に理解しようとしている。 | ことわざや童謡に効果的に使用される if の働きに注目し，自らも if を使って文を作ることができる。 | ことわざや童謡などに効果的に使用される if について理解している。 | 観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ことわざや童謡に効果的に使用される if の働きに注目し，自らも if を使って文を作ることができる。 | 様々な場面における if の使われ方とその働きを理解できる。 | ことわざについて英語で書き，発表できる。 | 発表 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ことわざの重要性や意義を読み取ることができる。 | ことわざの意味について理解する。」 | ことわざについて聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えられる。 | 発表、ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ことわざや童謡などに効果的に使用されるifについて理解している。。 | if S were to *do* / if S should *do* | ifが人間の思考や感情に与える影響力について理解している。 | ペアで音読し相互評価 |